

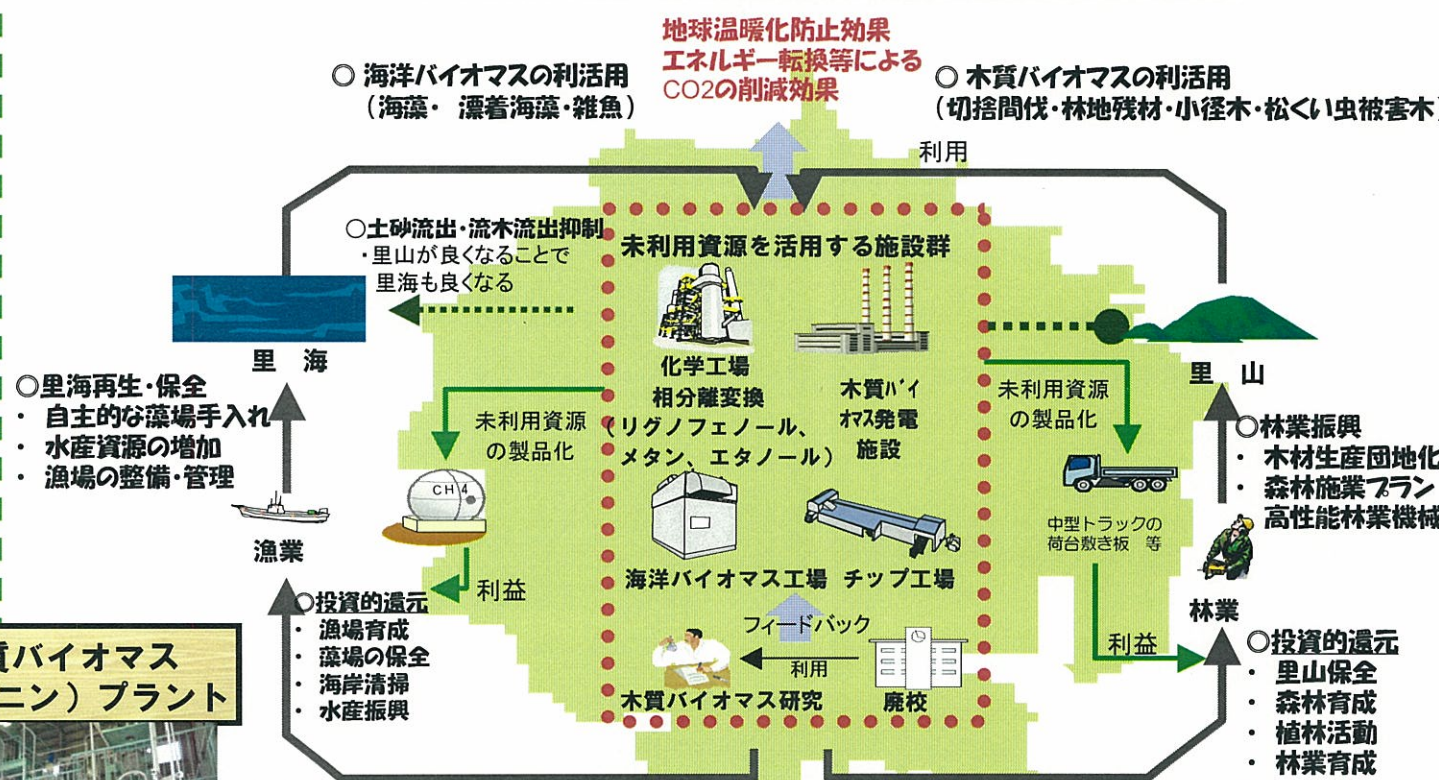
# 隠岐の島町～環境産業（緑のコンビナート）への挑戦～



隠岐の島町は島の面積の87%を森林が占めており、里山では林業の停滞による管理放棄や切捨間伐に伴う森林育成不足、里海では地球温暖化や土砂流入による漁場環境の変化、水産資源の減少、磯焼けの進行等の多くの問題に直面している。

この問題に対し、地元林業者・漁業者を中心に、里山では間伐材や松くい虫被害木等の未利用材の活用、里海では漂着海藻や未利用海藻の活用を推進することで、里山・里海での未利用資源を発掘・活用することにより、川上の里山から川下の里海までを総合的に再生したうえで、相分離系変換システムの導入による環境産業の振興を図るシステムと、そのための木質バイオマス施設、木質チップ工場、海洋バイオマス工場、遊休施設を活用した研究所の施設群による「緑のコンビナート」を構築。里山・里海再生のなかで、循環型社会を構築し、林業・漁業の振興、地域雇用の確保、観光振興等を進め、隠岐の島を元気にする。

## 緑のコンビナート（隠岐の島 循環型システム）



- 相分離系変換システム\*の導
- 木材チップ利活用事業の推進
- 粉炭製造事業推進
- 海藻等の海洋バイオマス利用

- 林業の振興
- 地域雇用の創出
- 定住環境の確保
- 交流人口の拡大 (エコツアー等の観光産業振興)

※ 相分離系変換システムとは？  
植物系バイオマスから、リグニンを機能性素材リグノフェノールへ誘導し、同時に炭水化物を分離できる技術。得られたリグノフェノールは、様々な開発が期待できる。一方、得られた炭水化物は、エタノールやメタンの原料となる。この技術は、植物を分子のレベルで利活用できるので、松くい虫被害木等の廃材も価値ある資源・素材に変換できる。



### 木質バイオマス (リグニン) プラント



- 雇用の創出
- 定住環境の確保
- 交流人口の拡大

○ 付帯事業による相乗効果  
カーボンオフセットツアー、エネルギー観光、里山・里海をフィールドとしたエコツアー



☆重点テーマに係る詳細ビジョン検討

# 木質バイオマス活用プラン

木質バイオマス活用プランを定め、木質バイオマス活用を具体的に進めます。

